

令和4年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立嶺町小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・昨年度の課題であった「読むこと」の領域において、区、全国のポイントよりも上回った。教科書の巻末に掲載されている「言葉の宝箱」、副教材「書くってたのしいな」を活用して、適切な言葉で表現をするための語彙を増やすことができた。またそれらが文章を「理解する」「読み取る」際にも生かされた。

(2) 課題

- ・「話すこと・聞くこと」の領域において、区や全国のポイントと比べて低い傾向にある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 正答率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	目標値を上回っている。 また、区平均正答率、全国平均正答率をやや上回っている。 (第4学年時)	/	/
第5学年	目標値を上回っている。 また、区平均正答率、全国平均正答率をやや上回っている。 (第5学年時)	校内正答率は、目標値、区平均正答率、全国平均正答率を上回っている。 (第4学年時)	/
第6学年	目標値を上回っている。 また、区平均正答率、全国平均正答率をやや上回っている。 (第6学年時)	校内正答率は、目標値を上回り、区平均正答率、全国平均正答率をやや上回っている。 (第5学年時)	目標値、区平均正答率、全国平均正答率を上回っている。 (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<4年生> ・我が国の言語文化に関する事項については、全国平均正答率、区平均正答率を上回っている。 ・情報の扱い方に関する事項については、全国平均正答率、区平均正答率を上回っているものの、全体と比較	・読むことに関する事項については、全国平均正答率、区平均正答率を上回っている。 ・書くことに関する事項については、全国平均正答率とあまり変わらず、区平均正答率よりやや上回っているものの、全体と比較	・知識、技能に関する事項については全国平均正答率、区平均正答率を上回っている。 ・主体的に学習に取り組む態度については、全校平均正答率とほぼ変わらないが、全体として比較すると大きく下回っている。

するとやや下回っている。	すると下回っている。	
--------------	------------	--

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み・書きについては、目標値を上回っている。 我が国の言語文化に関する事項については、全国平均正答率、区平均正答率を下回っている。 <p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 「漢字を書く」「漢字を読む」が、全国平均を下回っている。特に「漢字を書く」の項目は、他と比べてポイントが低い。 言葉の学習に関する項目は、全国正答率と目標値を上回っているが、昨年度の6年生に比べ、低くなっている。 	<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 話すこと・聞くことや、書くこと、読むことは、区平均正答率、全国平均正答率を上回っている。 説明文の内容を読み取る問題では、「情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見つけて要約する」ことに課題がある。 <p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 「指定された長さで文章を書く」と、「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている」の項目が、全国正答率と目標値を下回っている。 「話すこと・聞くこと」が区や全国平均と比べ、やや下回っている。 	<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に学習に取り組む態度は、区平均正答率より、やや上回っているものの、全国平均正答率と比べると、やや下回っている。 <p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に取り組む態度は、目標値を上回っているが、全国正答率に比べると、やや下回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 文字の書き取りを繰り返し、字形に気を付けて丁寧に書くよう日常的に指導を行う。 色々な詩の音読や暗唱活動を通して、様々な言葉の響きやリズムに触れ、言葉の豊かさを感じるようにする。 動作化や劇化を積極的に取り入れて、言葉のもつ意味 	<ul style="list-style-type: none"> 掲示物を利用し、話し方、聞き方のポイントを常に確認できるようにして、他教科においても徹底させていく。 がんばったことや、楽しかったことなどを話す機会を継続的に設け、自己の考えを広げ深められるように指導する。 ペア学習を積極的に取り入 	<ul style="list-style-type: none"> 音読劇を積極的に取り入れ、学習の楽しさを味わえる活動を行う。 地域図書館や団体貸し出しを利用したり、学習と関連した本の紹介や読み聞かせをしたりして、読書に親しむ機会を増やしていく。

について理解する。	れ、話すこと、聞くことの機会を増やしていく。	
-----------	------------------------	--

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典、漢字辞典の使い方学習した後も他教科においても活用させていく。そして、漢字の読み、書きの学習の定着も図っていく。 ・タブレットを活用し、様々な情報収集や情報の整理をするなかで、語彙を広げ知識・理解の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語や説明文における登場人物の気持ちを考える活動の中で、ペアやグループなど友達との交流を通して、自らの考えを深められるように学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入の際に子供たち自身の体験を想起させることで、学習を身近なものと感じさせ、主体的に取り組めるようにする。 ・地域図書館や団体貸し出しを利用したり、学習と関連した本の紹介や読み聞かせをしたりして、様々な分類の本に触れることができるような場を設定していく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明文等の文章や言語文化を扱う授業において、慣用句を始めとし、ことわざや故事成語等を、漢字辞典で調べたり、文章をつくったりする学習を取り入れ、意味や使い方が身に付くよう工夫し、生活の中で使えるようにする。 <p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きに加え、既習の漢字を使った熟語や文などを国語辞典も用いながら作る活動を取り入れる。同時に、それらの意味の理解を図る。 	<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容を読み取る学習では、構成表や思考ツールを用いて、文章の要旨を掴んだり、情報を整理したりすることで、文章の全体像を把握し比較・関連付けができるような授業方法を取り入れる。 <p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から振り返りなどで文章を書く機会を設け、長い文章を書くことに慣れる。 ・話し合い活動の際は、それらの目的や意図を明確にして行い、その内容を報告する機会を設ける。その際、時間や文字数を指定し 	<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を普段の生活に結び付けたり、他の学習で横断的に取り扱ったりすることで、生活の中で学んだことを生かすことの楽しさを感じさせる。 ・地域図書館や団体貸し出しを利用したり、学習と関連した本の紹介をしたりして、児童が幅広い本と出合い、読書に親しむ機会を増やしていく。 <p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を地域や普段の生活等に結び付け、児童の興味・関心に応じて、主体的に学習に取り組むことができるように導入を工夫する。 ・地域図書館や団体貸し出しを利用し、児童が幅広い本

	て、その中で目的や意図に応じた報告になっているか児童間で確認する。	と出合えるように、読書環境を整える。
--	-----------------------------------	--------------------